

一般会計予算決算常任委員会審査日程

日 時 令和7年3月6日（木）

午前10時から

場 所 議場

～審査内容～

- 1 議案第1号 令和6年度山陽小野田市一般会計補正予算（第8回）について
- 2 承認第1号 令和6年度山陽小野田市一般会計補正予算（第7回）に関する専決処分について

全体会 3月6日（木）午前10時（議場）

審査番号	項 目	出席者
①	議案第1号に係る各分科会長報告及び質疑	委員のみ
※執行部入場のため、委員会を暫時休憩		
②	議案第1号に係る討論及び採決	委員・執行部
③	承認第1号に係る分科会長報告、質疑、討論及び採決	委員・執行部

■分科会長報告概要■

	令和7年3月定例会
	一般会計総務文教分科会
議 案 件 名	議案第1号 令和6年度山陽小野田市一般会計補正予算（第8回）について
担 任 事 項	総務文教常任委員会が所管する部分
概 要	今回の補正は、普通交付税の追加交付に伴う減債基金への積立に加え、決算を見通して補正するもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p>【歳入】</p> <p>○6款 法人事業税交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1項1目法人事業税交付金 1,800万円の増額 県に納付された法人事業税の7.7%が市町に配分されるものであり、県から当該交付金の決算見込みについて情報提供があった数値を踏まえて増額するもの <p>(主な質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> ＊「増額の要因は」との質問に「国の令和5年度決算と令和6年度補正予算で、交付税の原資が増額されたことによるもの」との答弁 <p>○11款 地方交付税</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1項1目地方交付税 3億40万3,000円の増額 国において、令和5年度の国税決算の確定等により、令和6年度普通交付税の追加交付が決定されたことに伴って増額するもの。補正後の金額は、87億6,750万6,000円となる。 <p>○19款 繰入金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1項1目財政調整基金繰入金 6億9,332万2,000円の減額 財源調整として減額するもの。令和6年度末の予算上の残高は、39億9,092万5,000円となる。

【歳出】

○2 款 総務費

- ・1 項 4 目情報管理費 1,251 万 1,000 円の減額

そのうち 1,149 万 6,000 円の減額は、国の用意するガバメントクラウドへ標準準拠システムを移行する上で、国の方針の一部変更に伴うスケジュール変更、仕様見直しのため減額するもの

- ・1 項 7 目会計管理費 231 万 3,000 円の増額

市から公金を振り込む際の手数料が当初の見込みを超えるため増額するもの

(主な質疑)

- * 「見込みと現実が乖離した理由は」との質問に「集計数値の認識に誤りがあったこと、年度途中から児童手当の給付対象者が拡充され、各月払いに変更になったことが要因である」との答弁

- ・1 項 14 目防災費 389 万 8,000 円の減額

そのうち地区防災会補助金 90 万円の減額は、これまでの交付実績に基づき決算を見込んで不用額分を減額するもの

(主な質疑)

- * 「地区防災会補助金を減額する理由は」との質問に「令和 6 年 10 月から各地区運営協議会が発足し、発足後の防災訓練は市民活動推進課所管の事業から支出したため、当初予算で重複して計上していた部分を減額した」との答弁

- ・7 項 1 目大学費 2 億 5,680 万円の減額

そのうち施設整備補助金 3 億 4,244 万 3,000 円の減額は、公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学が実施する駐車場・テニスコート整備事業が、軟弱地盤対策のため、令和 6 年度末までに完了しないため減額するもの

○9 款 消防費

- ・1 項 2 目非常備消防費 517 万 5,000 円の減額

消防団員が条例定数に達していないこと、災害出動回数が想定を下回ったこと等により減額するもの

(主な質疑)

- * 「現在の団員数は」との質問に「条例定数 485 人に対し、令和 7 年 2 月末現在で 368 人である」との答弁
- * 「災害出動回数の状況は」との質問に「災害出動想定 300 人と

していたが、現在、火災 5 件で 66 人、その他災害、警戒出動で 62 人である」との答弁

○10 款 教育費

・ 6 項 1 目学校保健体育費 200 万円の減額

災害共済給付金事業の実績見込みにより減額するもの。令和 6 年 12 月末までの給付件数は、小学校 188 件、中学校 149 件、埴生幼稚園ゼロ件であり、給付額は約 70 万円である。

【繰越明許費補正】（追加）

○理科大との協創・データ活用によるスマートシティ推進事業

792 万円

市の保険に関するレセプトデータ等を分析するためのデータ収集や加工に時間を要しているため、繰り越すもの

○スポーツ施設維持管理事業 181 万 8,000 円

おのサンサッカーパークの水銀灯を LED 化するもの。世界的な半導体不足の影響や LED 灯の生産が追いついていないことから、年度内に納品ができないため、繰り越すもの

■分科会長報告概要■

	令和7年3月定例会
	一般会計民生福祉分科会
議 案 件 名	議案第1号 令和6年度山陽小野田市一般会計補正予算（第8回）について
担 任 事 項	民生福祉常任委員会が所管する部分
概 要	今回の補正は、決算を見込んだ事業費の精算等取り急ぎ措置すべき案件について補正するもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p>【歳出】</p> <p>○2款 総務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1項13目空家対策費 <ul style="list-style-type: none"> 12節委託料 廃棄物処分業務委託料 44万円の減額 14節工事請負費 工事請負費 542万3,000円の減額 今年度予定していた特定空家等の行政代執行1件について、特定空家等の所有者の関係者が令和6年9月に自ら除却を行ったため、減額するもの ・3項1目戸籍住民基本台帳費 1,196万3,000円の減額 <ul style="list-style-type: none"> 国から戸籍システム改修事業に伴う詳細が示されたこと等により、システム改修の内容を精査した結果、減額するもの（主な質疑） ＊「システム改修事業の減額の具体的な理由は」との質問に「システム改修の内容を精査した結果、当初見込んでいた作業が不要になったことによるもの」との答弁 <p>○3款 民生費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1項2目障害者福祉費 6,800万円の減額 <ul style="list-style-type: none"> 決算を見込んで不用額を減額するもの ・1項9目のぞみ園整備事業費 2,040万3,000円の減額 <ul style="list-style-type: none"> 決算を見込んで不用額を減額するもの

・2項2目児童措置費

18節負担金、補助及び交付金 6,035万円の減額
決算を見込んだ精算によるもの

・2項4目保育所費 292万円の減額

ねたろう保育園の浸水対策において、調査設計業務委託の事業費が確定したので、不用額を減額するもの

(主な質疑)

*「保育所運営費が減っているのはなぜか」との質問に「一番の要因は、子供の数の減少だと思われる」との答弁

○4款 衛生費

・1項2目予防費

12節委託料 予防接種委託料 6,751万円の減額

今年度から新たに定期接種に位置づけられた新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種費用と、今年度が最終年度になる風しん対策事業に係るワクチン接種費用について、いずれも今年度の実績が、当初の見込みを下回ることが見込まれることから、決算を見込み減額するもの

・2項2目塵芥処理費 1,700万円の減額

ごみの処分量が減少傾向であることを踏まえ、決算を見込み減額するもの

(主な質疑)

*「予防接種委託料がかなりの減額補正になっているが、何人を見込んでおり、実際はどれぐらいの人数になるのか」との質問に「新型コロナウイルスワクチンの定期接種では、当初見込んだ件数が1万700回で、決算を見込んで5,700回分とした。また、風しんの予防接種については当初の見込みが200人で、決算を見込んで88人とした」との答弁

*「ごみの量が減少した理由は」との質問に「人口減少と記録的な物価高騰による買い控えが要因と考えている」との答弁

■分科会長報告概要■

		令和7年3月定例会
		一般会計産業建設分科会
議 案 件 名	議案第1号 令和6年度山陽小野田市一般会計補正予算（第8回）について	
担 任 事 項	産業建設常任委員会が所管する部分	
概 要	今回の補正は、決算を見込んだ事業費の精算等取り急ぎ措置すべき案件について補正するもの	
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p>【歳出】</p> <p>○6款 農林水産業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1項1目農業委員会費 委員報酬 301万8,000円の減額 農業委員及び農地利用最適化推進委員の成果実績に基づき能率給を減額するもの ・1項3目農業振興費 新規就農者支援事業補助金 150万円の減額 認定新規就農者の機械・施設整備についての補助金を減額するもの <p>(主な質疑)</p> <p>*「新規就農者の機械・施設整備に係る経費の補助の申請はなかったのか」との質問に「今年度の申請はなかった」との答弁</p> <p>○7款 商工費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1項1目商工総務費 交通施設バリアフリー化整備事業補助金 766万6,000円の増額 物価高騰の影響により当初の予定よりも厚狭駅のエレベーター設置等の工事費がかかったため、JR西日本に対する補助金を増額するもの ・1項2目商工振興費 創業応援事業補助金 50万円の増額 当初の想定よりも対象者が5名増加したため増額するもの <p>(主な質疑)</p> <p>*「創業応援事業補助金の対象者の人数は」との質問に「当初の想定数は23名だったが、5名増加し、28名である」との答弁</p>	

○8款 土木費

・5項1目都市計画総務費

県事業負担金 670万円の減額

都市計画道路新開作二軒屋線整備事業において、地権者との補償交渉が難航し、予定していた用地買収を行うことができなかったことにより減額するもの

・6項1目住宅管理費

耐震診断員派遣業務委託料 66万6,000円の減額

当初予算で20件を予定していた耐震診断が11件であったため、実績により減額するもの

(主な質疑)

*「耐震診断員派遣業務についてのPRの方法は」との質問に「納税通知のときにパンフレットを渡したり、また、市広報や市のSNSに投稿したり、市のデジタルサイネージに表示をしている」との答弁

【繰越明許費補正】(追加)

○駅舎バリアフリー化整備事業 4,223万4,000円

エレベーター設置工事の年度内の完了が困難となり繰り越すもの

(主な質疑)

*「駅舎バリアフリー化整備事業の繰越しの理由は」との質問に「エレベーターの設置工事を開始した際に、地中に想定外のコンクリートのあることが確認され、その除去に想定外の時間を要したため」との答弁

■分科会長報告概要■

	令和7年3月定例会
	一般会計民生福祉分科会
議 案 件 名	承認第1号 令和6年度山陽小野田市一般会計補正予算（第7回）に関する専決処分について
担 任 事 項	民生福祉常任委員会が所管する部分
概 要	<p>国において、物価高騰等に直面する低所得者世帯に対する支援策として給付金を支給する方針が示されたことから、支給に向けた体制を早急に整えるための予算措置が必要となったため、令和7年1月31日に専決処分を行ったもの</p>
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p>【歳出】</p> <p>○3 款 民生費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 項 10 目物価高騰対策住民税非課税世帯支援給付金給付事業費 3 億 1,424 万 4,000 円の増額 <p>総合経済対策住民税非課税世帯支援給付金については、基準日である令和6年12月13日に本市の住民基本台帳に記載されている方で、世帯全員の令和6年度分の住民税均等割が非課税である世帯に3万円を支給するもので、見込支給世帯数は9,500世帯である。</p> <p>総合経済対策子育て世帯支援給付金については、基準日において総合経済対策住民税非課税世帯支援給付金対象者と同一世帯となっている18歳以下の児童に対し、1人当たり2万円を上乗せして支給するもので、見込対象児童数は900人である。</p> <p>(主な質疑)</p> <p>* 「システム開発委託料の算出根拠はあるのか」との質問に「これまでの給付金システムの開発実績などを踏まえシステムの仕様書を作成し、詳細に費用等のチェックをした結果、適正な価格であると判断した。また、県内の他市町にも聞き取りを行い、適正な価格であることを確認した」との答弁</p> <p>【繰越明許費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合経済対策住民税非課税世帯支援給付金給付事業 2 億 9,589 万円 ○総合経済対策子育て世帯支援給付金給付事業 1,835 万 4,000 円